

土浦市

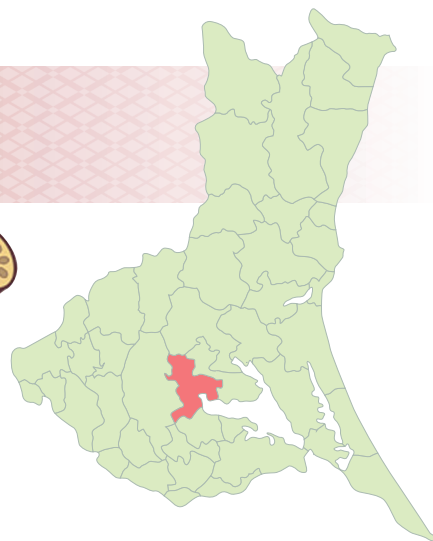
TSUCHIURA City

■由来／土浦村(現在の稲敷郡美浦村に吸収合併)から
そのまま借りたという説、土屋藩の「土」と十一の
「浦」の合成地名という説や、「津々浦々」からの
転訛などの説があります。

■市の花／サクラ
木／ケヤキ、ポプラ
鳥／ウグイス、ヨシキリ



つちまる



全国第2位の湖面積を誇る霞ヶ浦のほとりに位置する土浦市は、江戸時代から県南の中心都市として発展し、まちなかには見世蔵や古い商家が点在するほか、土浦城址は亀城公園として堀や櫓門が残されています。秋には、約2万発の花火が夜空を彩る土浦全国花火競技大会、食の祭典カレーフェスティバルが開催されます。れんこんは、日本一の生産量を誇ります。また、つくば霞ヶ浦りんりんロードをはじめ、りんりんスクエア土浦やりんりんポート土浦などが整備され、快適なサイクリングが楽しめます。

観光カレンダー

4月中旬	かすみがうらマラソン 兼国際ブラインドマラソン
7月下旬~10月中旬	観光帆曳船
8月上旬	土浦キララまつり
11月第一土曜日	土浦全国花火競技大会
11月下旬	土浦カレーフェスティバル

霞ヶ浦

霞ヶ浦の雄大な自然を体感

霞ヶ浦は、国内第2位の面積を持つ湖で、7月下旬から10月中旬の土日と祝日には、霞ヶ浦の夏の風物詩である観光帆曳船が運航されます。観光遊覧船のホワイトアイリス号に乗船すれば、観光帆曳船を間近で見学することができます。霞ヶ浦湖畔の霞ヶ浦総合公園には、体育館やレストランなどの施設が充実しており、冬にはイルミネーションが実施されます。

スポット



小町の館

昔懐かしい風景が広がる

平安時代の歌人で絶世の美女と
うたわれた小野小町伝説が残る
地域にある直径7mの水車がシン
ボルの小町の館では、小野小町に
関する資料などを展示しています。
令和8年4月にリニューアルオー
プンした小町庵では常陸秋そばが
味わえるほか、体験館ではそば打
ち体験等も行われています。また、
周囲には懐かしい田園風景が広
がり、気軽に楽しめるハイキング
コースも整備され、週末には多く
の方でにぎわいます。

スポット



りんりんスクエア土浦

スポット



つくば霞ヶ浦りんりんロードの中心に位置する駅直結型サイクリング拠点。シャワー、コインロッカー等を備え、レンタサイクルもっており、気軽にサイクリングへ出かけられます。

りんりんポート土浦

スポット



霞ヶ浦湖畔のつくば霞ヶ浦りんりんロード沿いに整備されたサイクリング拠点。整備・休憩スペース、シャワー、100台分の無料駐車場や緑の広場も備え、屋上テラスからは霞ヶ浦を見渡せます。

土浦全国花火競技大会

日本三大花火大会の一つ

大正14年、霞ヶ浦海軍航空隊殉職者の慰霊、経済の復興、秋の実りへの感謝と農民への慰労を目的とし、神龍寺の故秋元梅峯住職が中心となって開催したのが始まりです。全国から集まる花火師たちが、スターメイン(速射連発花火)の部、10号玉の部、創造花火の部の3部門で腕を競い合います。6分間で約2,000発を打ち上げる、大会提供のワイドスターメイン「土浦花火づくし」も圧巻です。

イベント



土浦カレーフェスティバル

全国からご当地カレー大集合

地元食材で日本一の生産量を誇るれんこんを活用し、カレーでまちおこしを目指して始まったのが、「土浦カレーフェスティバル」。地産地消の考えに基づき、地元産れんこんを使用したオリジナルカレーが楽しめるほか、全国各地からご当地カレー・ご当地グルメが集まり、多くの来場者が訪れる土浦の食の祭典。No.1を決定する「C-1グランプリ」は、主菜・創作の2部門で行われます。

イベント



れんこん

お土産



土浦市は日本一のれんこんの産地です。市内では品質の良いれんこんを使った料理や加工したお菓子を販売しています。夏には、レンコン畑に蓮の花が鮮やかに咲きます。

亀城公園

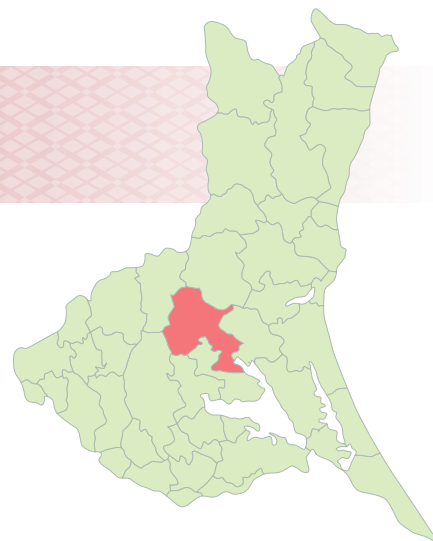
スポット



土浦城の本丸と二の丸の一部を整備した公園で東櫓と西櫓が復元されています。櫓門は当時のままで、本丸にある櫓門としては関東で唯一現存するものです。

石岡市

ISHIOKA City



■由来／もともと13世紀末の常陸国衙の在庁官人の「仮名」に由来する石岡。それが「城名」→「藩名」→「町名」をへて現在の「市名」となっている呼称といわれていますが、正確には定かではないともいわれています。

■市の花／ゆり
木／椎
鳥／ひばり



古くは常陸国の中心地として栄え、商業都市として発展してきた石岡市は、霞ヶ浦と筑波山麓を有する歴史と自然を楽しめるまちです。その自然を生かしたナシ、カキ、クリ、ブドウ、ミカン、イチゴ、ブルーベリーなどの果樹栽培も盛んで、シーズン中はたくさんの方が果物狩りに訪れます。また9月に行われる石岡のおまつりは、関東三大祭りに数えられるお祭りです。山域ではハングライダーやパラグライダーのスカイスポーツを楽しむことができ、いばらきフラワーパークでは世界のバラ900品種9,000本が咲き誇ります。

観光カレンダー

3月下旬から4月中旬	常陸風土記の丘 さくらまつり
5月上旬	いばらきフラワーパーク 春バラ見ごろ
7月下旬	柿岡のおまつり
9月中旬	石岡のおまつり

いばらきフラワーパーク

花と緑の楽園

「見る」から「感じる」フラワーパークがコンセプト。春と秋に見頃を迎える県花のバラ900品種をメインに、四季折々の自然に触れ、五感で季節ごとの魅力を体感できます。自然豊かな園内の花や自然をつかった「100の体感」アクティビティは年間100種類以上。バラテラスを見渡す丘に建つレストランでは、茨城県・八郷の食材をふんだんに使ったグルメもあり、バラに囲まれた園内のテラス席やパラソルの下で味わえます。



看板建築

様々なデザインの建築を見ることができる

看板建築とは、主に東京や関東周辺で関東大震災後に商店などに用いられた建築様式です。具体的には、木造2階建ての店舗兼住宅で、建物の前面を垂直に立ちあげ、モルタルや銅板、タイルなどで洋風のデザイン装飾を施した建物のことを言います。無名の職人たちが、在来の技術や技能によって新たに創り上げた庶民の建築様式です。



まち蔵 藍



江戸時代末期に建てられた木造2階建ての商家建築(染物店)で、石岡の大火を免れた貴重な建物。大火前からの土蔵も残されています。現在では観光施設まち蔵「藍」として営業中。

朝日里山学校



木造校舎の元小学校を活用した体験型の観光施設。地元食材を使用したピザ作りやそば打ち、田植えや野菜の収穫など自然を生かした様々な体験メニューが楽しめます。

石岡のおまつり

関東三大祭りの一つ

正式には「常陸国總社宮例大祭」といい、石岡にある常陸国總社宮の最も重要なおまつりです。初日には、格式高い大神輿と40台を超える幌獅子や山車が市内を練り歩きます。中日には、各所で多くの行事が行われ、中でも駅前前の御幸通りでは、幌獅子や山車のパレードが盛大に行われます。最終日には、再び大神輿が市内を練り歩いて大きな盛り上がりを見せ、おまつり期間中には、50万を超える見物客で市街地は大賑わいします。



しし鍋



古くは江戸時代、しし肉は「山鯨」と称され、冬の栄養補給食として、この地で親しまれてきました。そんなしし鍋を名物として市内の飲食店で提供しています。

いしおかサンド



石岡市内の菓子店が地元の農産物で作ったオリジナルスイーツ。ルールは「市産品を使用」「サンドしている」「各店舗の創造性」の3つだけ。名店の個性豊かな各店自慢の味を楽しめます。

石岡セレクト認定商品

自信を持っておすすめ

地域経済の活性化と市の魅力発信を目的として、石岡市の特産物やおみやげ品、伝統工芸品などの中から、特に優れた商品を「石岡セレクト」として認証しました。



県北エリア

県央エリア

鹿行エリア

県南エリア

県西エリア

龍ヶ崎市

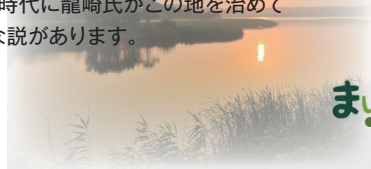
RYUGASAKI City

■由来／市名の由来にはいくつかの説があります。

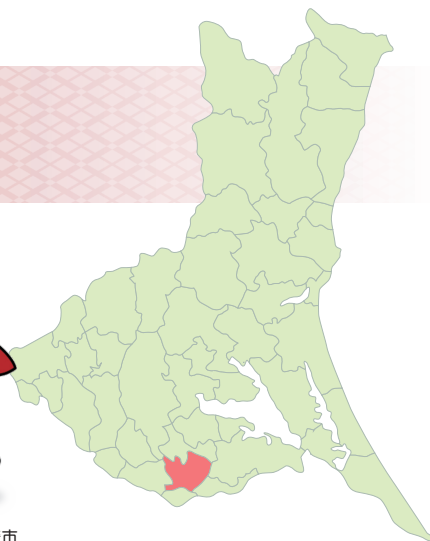
ひとつは「竜巻が多い土地柄だったから」。他にも「龍が降ってきた地の先にあるという伝説から」。または江戸時代の学者の「町の形が龍を思わせるから」という説もあります。最後に「鎌倉時代に龍崎氏がこの地を治めていたから」といろいろな説があります。

■市の花／ききょう

木／松
鳥／白鳥



まいりゅう ©龍ヶ崎市



県南部に位置する龍ヶ崎市は、自然・歴史・文化・スポーツの魅力が調和するまちです。市西部の牛久沼は日本の夕陽百選に選ばれ、空気の澄んだ冬には富士山へ太陽が沈む幻想的な景色が広がります。うな井発祥の地との説もあるのも特徴です。地上14メートルの柱上で妙技を披露する国選択・県指定無形民俗文化財の撞舞は、市を代表する伝統行事として知られています。近年はスポーツクライミングのまちづくりも進み、総合運動公園や2024年にリニューアルした森林公園、ご当地グルメの龍ヶ崎コロッケも人気を集めています。

観光カレンダー

7月下旬	八坂神社祇園祭
7月下旬	撞舞
11月中旬	産業祭いがっぺ市

カガミクリスタル

日本初のクリスタルガラス工場

日本初のクリスタルガラス工場で、すべてが熟練した職人技術での作業です。ドイツ留学した各務鎮三（かがみこうぞう）が、クリスタルガラスの美しさとグラヴィール（彫刻）など、本格的な技術を日本に紹介しました。（県伝統工芸品）

スポット



龍ヶ崎飛行場

様々なコースの遊覧飛行ができる

スポット

都心からアクセス2時間の飛行場です。セスナ機での遊覧飛行を行っています。遊覧飛行は飛行場一周から横浜方面まで17コース程あります。また軽飛行機の拠点でもあり、パイロット操縦訓練が盛んに行われています。



龍ヶ岡公園

スポット



龍ヶ岡地区のシンボル「たつのこやま（標高41m）」がある公園。晴れた日は、筑波山から東京スカイツリー、富士山まで一望でき、360度ひらけた関東平野ならではの景色を楽しめます。

アドベンチャーバレー龍ヶ崎

スポット



子どもから大人まで楽しめる公園です。フォレストアドベンチャーやネットコース、MTBのコースなどが整備されており、広々としたキャンプ場も人気です。春は桜スポットとしてもおすすめ。

牛久沼水辺公園

スポット



牛久沼のほとりにあり、沼の自然に触れることができる親水公園。白鳥や水辺に暮らす多くの野鳥を観察できるため、バードウォッチング・スポットとしても人気があります。

産業祭いがっぺ市

イベント



市内企業や商工会各支部による事業PRや体験コーナーをはじめ、市内飲食店が飲食物やコロッケを販売します。

撞舞（国選択・県指定無形民俗文化財）

450年以上の歴史をもつ伝統芸能

国選択・県指定無形民俗文化財に指定されている、約450年の歴史を誇る龍ヶ崎の伝統芸能です。雨蛙の面を被った舞男（まいおとこ）が高さ14メートルの撞柱（つくばしら）にのぼり、逆立ちや仰向けになるなど、さまざまな妙技を披露します。この「撞舞」には雨乞い、五穀豊穡、または疫病除けの意味があるといわれています。また、舞男が柱の頂上の円座から四方に放つ矢を拾った人は、1年間災厄を免れるといわれています。

イベント



龍ヶ崎コロッケ

Yahoo!ご当地メシ決定戦2014で見事優勝

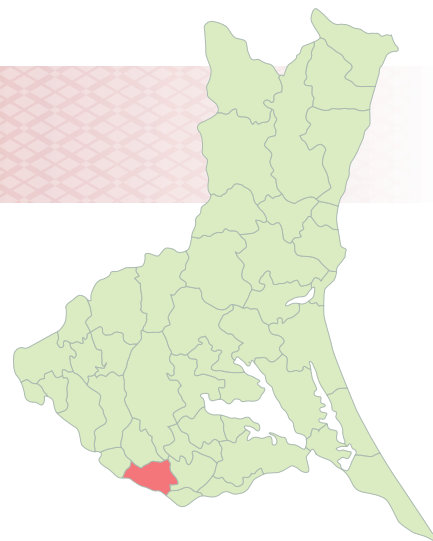
龍ヶ崎市商工会女性部有志によりスタートされた、まちおこし「コロッケ」・十余年の活動が結実し、「Yahoo!ご当地メシ決定戦2014」において、見事優勝しました。まちおこし「コロッケ」の取組みに賛同した市内飲食店や精肉店により、平成15年1月にコロッケクラブ龍ヶ崎が設立されました。また、平成29年には地域団体商標としても登録されました。令和8年4月時点で、20店舗が加盟しています。

グルメ



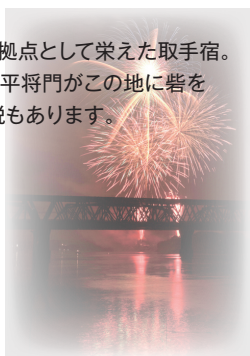
取手市

TORIDE City



■由来／江戸時代の頃から利根川水運の拠点として栄えた取手宿。
その由来となる取手は、一説には平将門がこの地に砦を
築いたことに端を発したという説もあります。

■市の花／ツツジ、フジ
木／モクセイ、ゲッケイジュ
鳥／フクロウ、カワセミ



取手市の鳥カワセミ



取手市の鳥フクロウ

本県の南の玄関口として江戸時代から水運、陸運の要所となった取手市は、今でもJR常磐線、国道6号など交通の要として重要な役割を果たしています。なんといっても最大の魅力は、雄大な利根川の流れ。四季を通じて野鳥の観察ができ、河川敷を利用した緑地運動公園やゴルフ場など市民の憩いの場として、利根川と人々との関わり方の深さを感じさせます。歴史にまつわる史跡なども多く残り、旧取手宿本陣、竜禅寺三仏堂、長禅寺三世堂などの見所もあります。

観光カレンダー

8月上旬	八坂神社例大祭
8月中旬	とりで利根川大花火
1月中旬	とりで利根川たこあげ大会
1月中旬	とりで利根川どんどまつり

麒麟ビール工場見学

予約をすれば見学ツアーに参加できる

麒麟ビールの旨さを実感できる見学ツアーを体験できます。麦芽の試食や実際にビールの製造過程で造られる一番搾り麦汁と二番搾り麦汁の比較試飲など工場ならではの体験をした後は、工場直送の美味しいビールを試飲することができます。ビール工場限定のお土産も販売しています。



スポット

旧取手宿本陣

水戸街道に残る本陣建築

寛政7年(1795)に建築され、水戸街道に残る本陣建築では最古・最大のもので、歴代の水戸藩主との深いつながりを出す品々や、多くの古文書が伝えられています。茨城県の有形文化財として指定されています。



スポット

小堀の渡し



スポット

大正3年より運航開始。平成11年に取手市営のバスが運行するまで、小中学生や住民の足として活躍し、現在は小堀の住民だけでなく、誰でも乗船できる観光船になっています。

岡堰



スポット

江戸時代の初めに伊奈半十郎忠治により築かれ、相馬二万石の用水となりました。関東三大堰の一つに数えられ、茨城百景にも選定されています。

「たいけん美じゅつ場」愛称 VIVA(ビバ)

2019年12月にOPENしました

「たいけん美じゅつ場」愛称VIVA(ビバ)は、アートを通じて、ひと・もの・情報が行き交う文化交流の拠点です。この施設は取手市・東京芸術大学・JR東日本・アトレが結んだ連携協定の取り組みの一つで、2019年12月にアトレ取手4階フロアにオープンしました。VIVAには、とりでアートギャラリー、東京芸術大学の卒業・修了作品を保存・展示するオープンアーカイブなどがあり、展示と連携したイベントなども開催しています。



スポット

とりで利根川たこあげ大会・どんどまつり



イベント

自作風の出来栄・揚げ方を競う自作品たこあげコンクールや、手ぶらで参加できる「たこ作り教室」も開催します。新春の伝統文化を体験できる行事です。

とりで本舗



お土産

取手のいいものを全国どこへでもお届けする、インターネットショップとりで本舗。名産品でもある奈良漬を始めとして、漬物やお煎餅など数多くの商品を取り扱っております。

奈良漬・漬物

西の名物を東で堪能!!

元々奈良県が発祥の奈良漬ですが、江戸時代に取手に伝わりました。利根川が運んでくれる養分豊かな水と、水はけの良い土壌が育んでくれるみずみずしい野菜、その旨さをそのまま封じ込める伝統の製法で作られています。新六本店(奈良漬)・山中屋(奈良漬)・戸祭貞次郎商店(漬物)など100年以上続く名店がその名を連ねます。



グルメ

牛久市

USHIKU City



■由来／龍ヶ崎市の金龍寺に「怠け者の小僧が牛になってしまい、沼に身投げをしました。そこから『牛を沼が食った』『牛食う沼』と変わり、その沼が牛久沼と呼ばれるようになった」という昔話が伝わっており、沼の名の由来・地名の由来となっているという説があります。

■市の花／菊

木／金木犀

鳥／鶯



牛久市は、茨城県南部に位置し、常磐線や圏央道をはじめとした広域公共交通ネットワークが充実しており、東京から電車で50分、成田国際空港まで車で45分と、都心や海外へのアクセスが良好です。市内には、明治36年に創設された日本初の本格的ワイン醸造場である「牛久シャトー」をはじめ、国内外から多くの観光客が訪れる「牛久大仏」や、長編小説「橋のない川」が800万部のベストセラーとなった作家・住井すゑの文学資料を展示した「住井すゑ文学館」、画家・小川芋銭の作品が保存されている「雲魚亭」など、観光施設や文化施設にも恵まれています。

観光カレンダー

5月3日	うしく鯉まつり
7月下旬頃	うしくかっぱ祭り
11月上旬～中旬	うしく菊まつり
11月3日	うしくWaiワイまつり
2月～3月頃	日本遺産フェスタ

牛久大仏

高さ120mの大仏様

世界最大120mの青銅製立像「牛久大仏」は、ギネス世界記録に認定されており、庭園内には四季折々の花が咲き、春には400本以上のソメイヨシノや芝桜、秋には一面のコスモスを楽しむことができます。大仏様の胎内も拝観ことができ、5層に分かれた空間を巡る見学や写経体験のほか、地上85mの展望台からは富士山やスカイツリーを望めます。

スポット



牛久シャトー

日本初の本格的ワイン醸造場

実業家神谷傳兵衛が明治36年に創設した「牛久シャトー」は、ブドウの栽培から醸造、瓶詰まで一貫して行う日本初の本格的ワイン醸造場であり、その歴史的価値の高さから、平成20年に国の重要文化財に指定され、令和2年には日本遺産にも認定されています。大きなワイン樽が並ぶ神谷傳兵衛記念館では、神谷傳兵衛の軌跡やワイン造りに関する資料が展示されています。

スポット



うしくかっぱ祭り

2万本の花がお出迎え

昭和56年に始まったうしくかっぱ祭り。夕方から始まる「かっぱ囃子踊りパレード」は、最大1万人規模の踊り手が参加して祭りを盛り上げます。

イベント



長沼りんご園

スポット



秋にはりんご狩り、夏はブルーベリー摘みが楽しめる、エコファーマー認定農園です。自然な香りと甘さあふれる果実が楽しめます。

小川芋銭記念館(雲魚亭)

スポット



小川芋銭はカッパを題材にした独特な境地の幻想画で知られています。「雲魚亭」は、小川芋銭の住まいを兼ねたアトリエを公開したもので、複製画等の展示があります。

ヤマイチ味噌

スポット



地元の米・大豆を原料に杉の大樽で天然醸造の味噌を造る味噌蔵です。工場直売所では量り売りもできます。定期的に開催している味噌造り教室も人気です。

牛久市観光アヤメ園

スポット



牛久市観光アヤメ園は昭和61年に開園しました。毎年5月から6月にかけて、色とりどりのアヤメや花菖蒲などの花が見事に咲きます。また、春には土手沿いの桜が、秋には遠路沿いのヒガンバナが楽しめます。

和風わらびモンブラン

お土産



牛久市の新商品開発プログラム「うしくグルメソ」で生まれた伊勢屋牛久の新作スイーツ。現在、栗あんや緑茶あん等、季節や地域産品にこだわった様々なバリエーションが生まれています。

牛久市のワイン

お土産



日本ワイン発祥の地の1つとされる牛久市では「牛久シャトー」、「麦と葡萄牛久醸造場」でそれぞれ特色のあるワインが造られ、販売されています。

守谷市

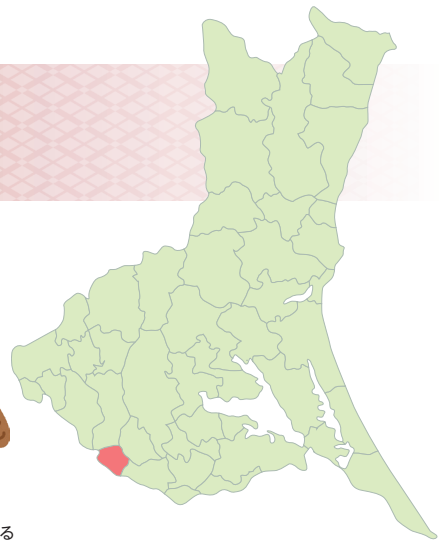
MORIYA City

- 由来／平将門がこの地に城を築いたとき、丘高く谷深くして守るに易き地ということから、守るに易き谷、転じて「守谷」となったという説があります。

- 市の花／山百合
木／松
鳥／小綬鶏



守谷市イメージキャラクター こじゅまる



守谷市は、茨城県の南西端に位置し、東京都心から約40km圏内にあります。常磐道やつくばエクスプレスにより、都心部とも直結、めざましい発展を遂げています。新しいまちのイメージを持ちながらも、歴史も古く、平将門にまつわる「平将門と7人の影武者の墓」や徳川家康ゆかりの長龍寺、家康水のみ井戸跡などの名跡も残されています。さらに、日本を代表する企業立地も多く、アサヒビール(株)や(株)明治の工場見学をすることができます。

観光カレンダー

2月下旬	守谷ハーフマラソン
5月上旬	MOCOフェスタ
7月下旬	八坂神社祇園祭
9月下旬	守谷市商工まつり

スーパードライ ミュージアム

工場できたてのビールを試飲

スーパードライの世界観を五感で体感できる体験型施設。ミュージアム体験最後に向かう「スーパードライホール」では、試飲が可能。工場できたてのうまさを味わえます。(試飲時間は20分間。一人2杯まで。)ビール以外にも、ノンアルコールのアサヒドライゼロやミッツサイダーなどのソフトドリンクも用意しています。



スポット

明治なるほどファクトリー守谷

ヨーグルトの製造工程を見学

乳製品でお馴染みの明治製品の工場見学ができます。牛乳・乳製品のことや、乳酸菌の働きなどを楽しみながら学ぶことができ、いろいろなヨーグルトの製造ラインを見学できます。工場で作られたヨーグルトの試食やお土産付きで小さなお子様にも人気です。



スポット

四季の里公園

一面に広がるアヤメなどが観賞できる

園内の池周辺に植えられた約46,000株のアヤメやハナショウブが観賞できます。毎年5月上旬から6月中旬にかけて順に見頃を迎え、写真撮影・写生スポットとして、市内外から多くの観光客が訪れます。



スポット

守谷野鳥のみち



スポット

利根川・鬼怒川・小貝川に囲まれた静かな林間と明るい湿地草原を含む総延長4キロの歩道です。ごみの持ち帰りなど案内板に書かれているルールを守り、野鳥の声や守谷の自然をお楽しみください。

アーカスプロジェクト



スポット

国際的に活動するアーティストが滞在制作を行うアーティスト・イン・レジデンスプログラムと、子どもから大人までを対象としたワークショップ等を定期的に行い、地域活性化を図っています。

守谷市商工まつり



イベント

9月下旬開催の市内最大級の守谷駅前イベントです。市内中学校吹奏楽部の演奏やよさこいソーラン踊りなどのステージパフォーマンスのほか、地場グルメなどのブースが集結します。

八坂神社祇園祭



イベント

夏に流行る疫病を祓おうということから、夏の始まりに行われるといわれています。山車がグルグルと回る姿は他の祇園祭には見られない守谷特有のものです。

守谷 SA やさい村



スポット

「守谷SAやさい村」は、常磐自動車道守谷サービスエリア「Pasar(パサル)守谷」にある、守谷市の生産者が運営する生鮮野菜等の直売所です。守谷市の畑で収穫された採れたて野菜などを生産者が直接販売しています。

ミルク工房もりや



お土産

大八洲開拓農業協同組合が中心となって設立した小さな工房ですが、乳製品に対するこだわりと情熱はたっぷりです。地元産の乳製品をぜひ味わってください。

つくば市

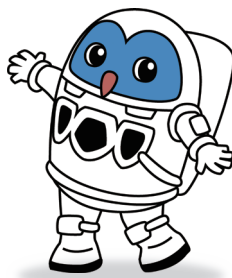
TSUKUBA City

■由来／市のシンボリック的存在である筑波山にちなんだ名称。

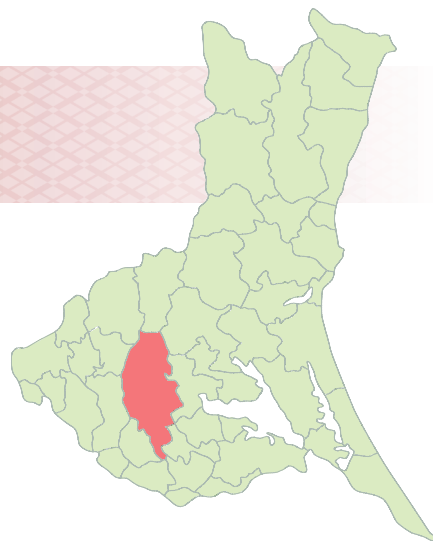
■市の花／ホシザキユキノシタ

木／ケヤキ

鳥／フクロウ



フックン船長



日本百名山の一つ筑波山を有し、筑波山神社の参拝客や登山客で通年賑わいます。「美肌の湯」といわれる温泉も魅力。一方で、市内には筑波大学やJAXAなど約160の研究機関が集積し、MICEの開催も盛んで、世界各国からビジネス客が来訪するサイエンスシティでもあります。市郊外には豊かな自然が広がり、平沢官衙遺跡や小田城跡などの史跡や寺社仏閣などの見どころも豊富です。つくばエクスプレスで秋葉原駅から最速45分の便利な立地もあり、沿線を中心に市民も増加し、2023年、2025年には人口増加率日本一になりました。新鮮な農作物、パン、ラーメン、コーヒー、地酒など上質で個性豊かなグルメも大人気です。

観光カレンダー

2月中旬～3月下旬	筑波山梅まつり
5月中旬	つくばフェスティバル
8月下旬	まつりつくば
10月下旬～11月上旬	筑波山麓秋祭り
11月上旬～下旬	筑波山もみじまつり

筑波山神社

日本屈指のパワースポット

筑波山を御神体とする筑波山神社。西峰の男体山頂に筑波山大神・伊弉諾尊（いざなぎのみこと）を、東峰の女体山頂に筑波山女大神・伊弉冉尊（いざなみのみこと）の二神を祀っています。また、伊弉諾尊と伊弉冉尊が結婚し神々を産み、国産みをされたことから、縁結び、夫婦和合、家内安全、子授けなどの御神徳があるとされています。



スポット

JAXA 筑波宇宙センター



スポット

人工衛星やロケットなどの研究開発や開発試験、打ち上げた人工衛星の追跡管制、国際宇宙ステーションの日本実験棟「きぼう」の運用管制、宇宙飛行士の養成などを行っています。

筑波実験植物園



スポット

国立科学博物館の植物研究施設で、日本をはじめ世界の様々な植物およそ3,000種類が見られます。広く一般に公開されており、温室では熱帯や乾燥地の珍しい植物なども楽しめます。

フォレストアドベンチャー・つくば

森の中を空中散歩

フランス発祥の自然共生型アウトドアパーク。森の地形や樹木をそのまま生かし、地上10m以上の木々の間に張られたワイヤーをつたって空中移動する全10サイトの各アクティビティはスリル満点です。筑波山梅林上空往復180mのロングジップスライドで滑空する爽快感は最高です。また、隣接する「筑波山おもてなし館」では休憩もできます。



スポット

平沢官衙遺跡



スポット

今から1,000年以上前の奈良・平安時代の筑波郡の役所跡で、1980年に国指定史跡に指定されています。校倉・土倉・板倉の3棟を復元して古代空間を再現し、案内所を併設しています。

筑波山温泉郷



スポット

筑波山の中腹には、筑波温泉・筑波山温泉「双神の湯」の二つの源泉があります。アルカリ性の強いアルカリ性単純温泉で肌がすべすべになることから「美肌の湯」ともいわれています。

小田城跡

中世とよばれる鎌倉時代から戦国時代に、常陸の国（現在の茨城県）南部に勢力を持った小田氏の居城跡です。小田城跡は、その歴史的重要性及び良好な遺存状況から昭和10年に国の史跡指定を受けました。



スポット

つくばサイエンスツアー

つくばの知を巡る！

つくば市には、10の常設展示場を含む約50の見学可能な研究教育機関が点在しているサイエンスシティ。土・日曜、祝日には、6つの研究教育機関を周遊するサイエンスツアーバスで手軽に研究所巡りができます。毎月第1・第3土曜日にはスタッフガイド同行コースも運行しています。



イベント

筑波山

茨城県のシンボル

朝夕に山肌の色を変えるところから「紫峰」と呼ばれている筑波山。男体山、女体山の二峰を持つことから、生産のシンボル、神の住む山として、古くから多くの人々に信仰されてきました。また「西の富士、東の筑波」と並び称されてきた優美な姿は、多くの歌人を魅了し、「万葉集」や「小倉百人一首」などに数多く歌われています。山頂へ向かうハイキングコースには、奇岩、怪岩を巡るコースや自然研究路があり、標高871mの男体山へはケーブルカーで、標高877mの女体山へはロープウェイでも気軽に登ることができます。2016年には筑波山地域がジオパークに認定されました。

スポット



筑波山梅まつり

約1,000本の梅が咲き乱れる

筑波山中腹、標高約250m付近に位置し、約1,000本の梅が咲き誇る筑波山梅林で約1か月に渡り開催。期間中は、筑波山名物ガマの油売り口上披露やつくば観光大使によるお出迎え、梅林の上を滑走するジップトリップなどの様々なイベントも行われます。梅まつり限定、梅林の梅を使ったグルメ企画「梅(うめ〜)食」も人気です。

イベント



まつりつくば

つくばを代表するお祭り

2日間で約48万人が訪れる、歴史や科学など多様な文化の融合が織りなすつくばならではのイベントです。土浦学園線を通行止めにして開催される「大パレード」は、日本最大級の大きさを誇る「万灯神輿」や「ねぶた」の競演など、見どころ満載です。

イベント



つくばラーメン激戦区

ラーメンの街つくば

つくば市内には200を超えるラーメン店があり、東京ラーメンショーでグランプリに輝いた店や、専門サイトで常に上位にランキングされる有名店など、全国的にもレベルが高いラーメン店が軒を連ね、凌ぎを削る群雄割拠のラーメン激戦区となっています。また、2024年には筑波山麓特産「福来みかん」の香りを生かしたつくばのシンゴ当地ラーメン「福来まぜそば」が誕生し、進化を続けています。

グルメ



つくばうどん



茨城県ではけんちん汁のそばやうどんが普段から食べられており、つくばうどんはこのけんちんうどんの一種。具材は筑波地鶏の「つくね」、地元産「黒野菜」、茨城県産銘柄豚の「バラ肉」の頭文字をとって名付けられました。

TSUKUBA おでかけ journey !

お土産



市内に点在する魅力あふれるおでかけスポットを4つのテーマ(「はじめてのつくば」「自然と楽しむ」「文化を深める」「地域を知る」)に分け、モデルコース形式で紹介しています。

つくばコレクション

つくばの優れたお土産品

「つくばコレクション」は、つくば市を代表する優れたお土産品として、市が認定した商品です。お酒、お菓子、食肉製品、調味料など、おすすめのものばかりです。つくばのお土産は、ぜひ、右のマークを目印にお選びください。

お土産



Farm to Table つくば



地産地消を応援するため、つくば市地産地消宣言をした飲食店・販売店・農家の皆さまと連携し、つくばの食と農の魅力を紹介するウェブサイトです。「つくばを丸ごと食べよう」を合言葉に、おいしいつくばの食をお楽しみください。

つくばのおさけ



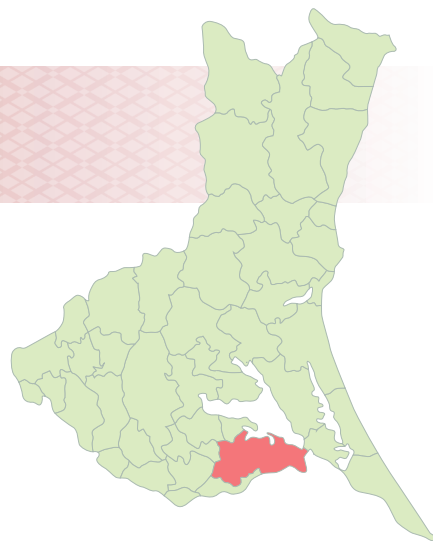
つくばには、全国新酒鑑評会で全賞を受賞する蔵元や、「ワイン・フルーツ酒特区」で創業したワイナリーなど、多岐に渡る酒造が軒を連ねます。酒蔵2社、ワイナリー4社、ブルワリー2社が力を合わせて、「つくばのおさけ推進協議会」をスタートし、酒類横断のイベント等を行っています。

稲敷市

INASHIKI City

■由来／大地に稲穂がそよぐ風景がより強くイメージできるなどの理由により「稲敷市」と決定しました。

■市の花／きく
木／さくら
鳥／うぐいす



稲敷市は稲敷台地と広大な水田地帯からなり、霞ヶ浦、利根川、新利根川、小野川などの豊かな自然環境と温暖な気候に恵まれ、水運と農業を主として発展した地域です。観光スポットはここで紹介する施設のほかにゴルフ場や釣り場、自然を生かした公園など数多くあります。圏央道(稲敷IC、稲敷東IC)が開通し、東京都からのアクセスも容易となり、つくば市や成田市など周辺都市との連携もますます期待されます。

観光カレンダー

3月下旬	桜づつみライトアップ
4月上旬	稲敷チューリップまつり
6月8日	寝釈迦の花まつり
6月上旬	ふな釣り大会
8月下旬	いなしき夏まつり花火大会

大杉神社

あんばさま総本宮

大杉神社は日本唯一の夢むすび大明神といわれ、正月の初詣や2月3日の節分祭には多くの参拝客が訪れ、年間の参拝者は約33万人を数えます。古くから「あんばさま」の呼び名で親しまれ、境内にそびえ立つ2本の大杉を海や川の守り神とし、漁業関係者から信仰を集めています。近年、境内にある勝馬神社がテレビ番組で紹介され、JRA関係者や競馬ファンの間で人気となっています。



横利根閘門



横利根閘門(よことねこうもん)は大正3年から約7年の大工事の末、大正10年に完成し、現在も利用されている我が国最大級の規模を持つ煉瓦造複閘式閘門です。

笑遊館



地域の人たちの交流の場として、また、まちに訪れた方のための休憩所や観光案内所として、平成16年にオープンしました。この施設は、古くからある鈴木屋旅館を改装したものです。

こもれび森のイバライド



動物にさわる。自分でつくる。思いっきりカラダを使って遊ぶ。「こもれび森のイバライド」は、茨城の自然の中でたくさんの思い出を手作りできる体験型テーマパークです。関東圏初のシルバニアパークがあり、東京から車で約90分のスムーズなアクセスも魅力です。

寝釈迦の花まつり



毎年6月8日に行われる祭りで、「腰巻おがみ」の名で広く知られています。この日には、茨城県指定有形文化財の像長約2mの珍しい寝釈迦像(釈迦如来涅槃像)も開帳されます。

いなしき夏まつり花火大会

県内有数の打ち上げ数

1996(平成8)年から、例年8月に行われている夏まつり。このまつりのメインプログラムとなっている花火大会は、県内の花火大会のなかでも有数の打ち上げ数を誇り、ミュージックに合わせてテンポよく打上げられる花火が音と色で観客を魅了します。フィナーレを飾る「日本一のスターメイン」は見ごたえ満点。「いなしき夏まつり」は、会場でステージイベントなどの催し物があり、花火大会の前から楽しめます。



SHOEI HELMET PARK

NEW SPOT!

世界中のライダーから支持を受けるSHOEI。そのものづくりの哲学や安全性へのこだわり、ブランドの歩みを、見て・触れて・感じられるミュージアムです。1Fは、SHOEIオリジナルピザを提供するレストランと、最新モデルや限定アイテムが並ぶショールーム。2Fは、SHOEIの歴史をたどる展示、レジェンドライダーの紹介、体験型コンテンツを展開。SHOEIの世界観をぜひお楽しみください!!



稲敷チューリップまつり



会場には約20種類10万本ものチューリップが咲き誇り、美味誘惑が広がる模擬店やPRブースもたくさん出店します。特設ステージでは歌謡ショー、郷土芸能発表などが行われ、老若男女問わず楽しめるイベントです。

江戸崎かぼちゃフェア



稲敷自慢のおいさがたっぷり詰まった江戸崎かぼちゃ。約50年にわたる生産の歴史で培われた栽培方法と厳格な検査体制を継承し、完熟収穫を徹底しています。江戸崎かぼちゃフェアでは、参加店による「江戸崎かぼちゃ」を使ったお菓子、料理などを期間限定で販売します。

かすみがうら市

KASUMIGAURA City

■由来／湖の「霞ヶ浦」。合併後にひらがな表記になりました。

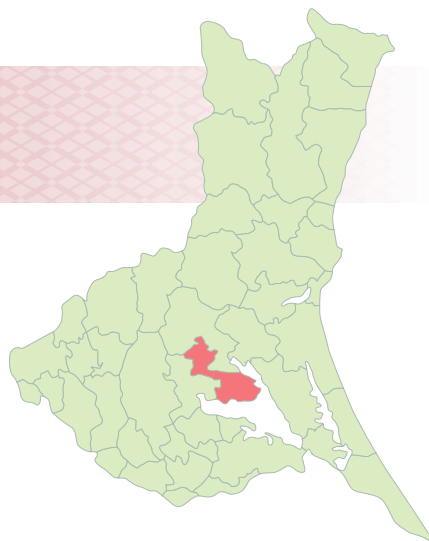
■市の花／あじさい

木／くり

鳥／うぐいす



かすみがうら



西に雪入山、東に霞ヶ浦を持ち、山と湖の大自然に囲まれた美しいまちです。温暖な気候に恵まれ、梨・ぶどう・栗・柿・イチゴなどの観光果樹園が盛んで果物狩りにたくさんの方々が訪れます。明治13年に折本良平氏が考案した風力による漁船「帆引き船」発祥の地でもあります。さらに水郷筑波国定公園内である景勝「歩崎」の地では、自転車レースのイベントをはじめ、カヌーやSUPなどの湖上アクティビティも盛んです。

観光カレンダー

5月4日	かすみがうらフェスタ
7月～11月	観光帆引き船操業
8月16日	あゆみ祭り
11月3日	かすみがうら祭

帆引き船

帆引き船発祥の地

霞ヶ浦のシンボルである帆引き船を使った漁法は、かすみがうら市(旧：佐賀村)に生まれた折本良平氏によって明治13年に考案されました。霞ヶ浦漁業の歴史を知る上で極めて重要な文化遺産であることから、霞ヶ浦で昭和46年に初めて観光帆引き船として復活しました。また、平成30年3月に「霞ヶ浦の帆引き網漁の技術」が国選択無形民俗文化財に選定されました。

スポット



果物狩り

茨城随一のバラエティ

かすみがうら市内の果樹園では、県内有数の生産量を誇る梨や栗をはじめ、さまざまな果物狩りが楽しめます。

6-8月 ブルーベリー
8-10月 梨、ぶどう
9-11月 栗、柿
12-5月 いちご

スポット



かすみがうら市歴史博物館

お城形の博物館

開館30周年を迎えた郷土資料館が、平成29年1月1日をもって歴史博物館として新たに生まれ変わりました。この博物館は昭和62年の霞ヶ浦大橋の開通に合わせ開館し、地域の歴史と文化を守り続けてきたほか、観光拠点としても市のシンボルとなっています。

スポット



かすみがうら市水族館

平成元年に開館し、とんがり屋根がトレードマーク。シラウオやオイカワなど、霞ヶ浦やそのまわりの川にすむ魚を、約100種類見ることができます。まるで霞ヶ浦の中をのぞいているように見える「パノラマ水そう」や、魚に手でさわられる「ふれあい水そう」もあり、楽しく見学できます。見どころがたくさんあって、魚のことを楽しく学べる場所です。

スポット



雪入ふれあいの里公園

筑波山系の雪入山にある公園からは霞ヶ浦を見渡すことができます。山道を歩いていくと鳥の池があり、鳥や小さな動物の姿を楽しめます。ネイチャーセンターにはジオラマ展示や立体ハイビジョンシアターを備えています。自然の知識をインプットして、小さな旅に出かけましょう。

スポット



あゆみ庵

抹茶と和菓子で一息いかがですか。

数寄屋造りの建物で茶室と座敷広間があり、ボランティアグループによるお茶のサービスでおもてなしをします。日本庭園には、なだらかな緑の階段をぬって流れる滝や、ひょうたん池があり、静寂の世界へと誘います。

スポット



つくばみらい市

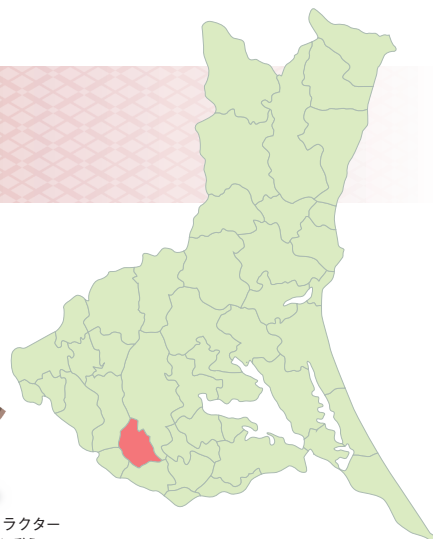
TSUKUBAMIRAI City

■由来／平成18年、伊奈町と谷和原村が合併・市制移行し発足。
市内全域が筑波郡であったこと、つくばエクスプレスの駅名「みらい平」に由来。日本一文字数の多い市名のひとつです。

■市の花／なのはな
木／さくら
鳥／ひばり



つくばみらい市のイメージキャラクター
産業経済課 主事 みらいんぞう®



緑と水の豊かな自然に恵まれた環境にあり、市の中央には小貝川、西部には鬼怒川が流れています。小貝川と福岡堰から流れる用水路の間の堤及びその周辺には、約450本の桜が1.8kmにわたって並び、開花期には見事な景観をつくることから茨城観光100選・茨城百景にも選定され、県内でも有数の桜の名所となっています。また、つくばエクスプレスの開通などにより宅地化が進んでいますが、国の重要無形民俗文化財に指定されている綱火や、江戸時代の探検家・間宮林蔵の生家など、歴史を物語る文化や史跡なども数多く残っています。

観光カレンダー

1月1日～3日	初詣(板橋不動尊)
4月上旬	福岡堰さくらまつり
8月上旬	みらいフェスタ
8月下旬	綱火
10月	米コンテスト・商工感謝祭

福岡堰

関東三大堰の一つ

現在の福岡堰は昭和46年に完成したもので、岡堰(取手市)、豊田堰(龍ヶ崎市)とともに関東三大堰の一つに数えられます。堰周辺は桜の名所として知られ、桜並木が続く堤は、遊歩道や多目的の広場が整備され、散策や釣りをを楽しむ人々の憩いの場となっています。堰の東側には、水辺に親しむことなどを目的とした福岡堰さくら公園が整備されています。

スポット



ワープステーション江戸

国内でも数少ない野外型ロケ施設

時代劇オープンセットが建ち並び、国内でも数少ない野外型ロケ施設。時代設定は、江戸時代はもちろんのこと、戦国から昭和までを幅広くカバーしており、NHKの大河ドラマや著名な映画などにも度々登場しています。施設の一般公開は行っていますが、10月におやこハロウィンパーティーやワープテアトルつくばみらいなど、入場可能なイベントを市や観光協会が開催することがあります。

スポット



綱火

人形を操る伝統芸能

綱火とは、仕掛け花火とお囃子に合わせながら、空中に張りめぐらせた綱でからくり人形を操り、空中人形芝居を演じるという伝統民俗芸能です。国の重要無形民俗文化財に指定されています。つくばみらい市に伝わっているのは、小張松下流と高岡流の2つの流派です。毎年8月下旬に豊年満作と火難除けを祈願し、集落の神社で奉納されます。

イベント



高岡流(綱火)

不動院(板橋不動尊)

スポット



正式名称は「清安山不動院願成寺」。本尊の「木造不動明王及二童子立像」は国の重要文化財、境内の本堂・三重塔・楼門は茨城県指定文化財にそれぞれ指定されています。

みらいっ娘

スポット



“大地の香り、食べる喜び届けます”をキャッチフレーズに「安全・安心」「地場産」にこだわり、JA茨城みなみ管内(つくばみらい市・取手市・守谷市)を中心に生産された新鮮な野菜・米・加工品などを販売している農産物直売所です。

間宮林蔵記念館

世界地図に名を残した唯一の日本人

江戸時代に活躍した探検・測量家の間宮林蔵は、つくばみらい市内で生まれ育った郷土の偉人として、市内でも広く親しまれています。「間宮林蔵記念館」は郷土の偉人を顕彰するために平成5年6月の「測量の日」に開設した施設です。館内の展示室では、各地から収集したゆかりの資料を展示しています。敷地内にある茨城県指定史跡「間宮林蔵の生家」は、内部に入ることも可能です。

スポット



トマト

お土産



小貝川沿いの地域を中心に、多くのトマトが生産されています。大玉・中玉・ミニなど生産者の栽培のこだわりと熱い思いが詰まったトマトは味が濃くてとてもおいしいと評判です。

お米

お土産



市内を流れる小貝川沿いに「谷原三万石」と呼ばれる広大な水田地帯があり、6月の豊富な降水量や7・8月の晴天率の高さなど、栽培に適した気候で美味しいお米が育てられています。

美浦村

MIHO Village

■由来／昭和30年に木原村と安中村と舟島村の一部が合併し、霞村が誕生したのですが、即日美浦村に改称。霞ヶ浦を意味する「浦」と、牧歌的で美しい風光明媚な景観を讃えて「浦」の前に「美」を足し、美浦としました。

■村の花／やまゆり
木／やまざくら



美浦村マスコットキャラクター
みほーす



茨城県内に残る2つの村のうちのひとつ美浦村。都心から60km圏内の茨城県南部に位置し、北部と東部が霞ヶ浦に面しています。国史跡に指定されている縄文遺跡「陸平貝塚」がある”歴史のまち”、オリジナルブランド米「美浦そだち」やマッシュルーム、パプリカといった高品質の野菜を生産する”農業のまち”、そして、日本中央競馬会のトレーニングセンターがある”トレセンのまち”として知られています。

観光カレンダー

4月第2日曜日 木原城山まつり

9月下旬 美浦村UMAフェスタ

11月3日 ”みほ”産業文化フェスティバル

JRA美浦トレーニング・センター ターフプラザ

競走馬の調教が見られる！

ターフプラザの開館日が競馬開催日および水曜・金曜に拡大しました。さらに、毎月第2水曜日は調教馬場開場15分前からターフプラザが開館するため、4階の展望フロアから競走馬の調教を見ることができます。調教の合間をぬってやって来る騎手や調教師に会えるかもしれません…。また、実際の資材で作られた馬房のレプリカや美浦所属のGIレース優勝馬のゼッケンなども展示しています。最新情報は美浦TCのHPをご確認ください。

スポット



JRA美浦トレーニング・センター

スポット



約224万㎡の広大な敷地を有し、トラック型調教コース、1,200mの坂路調教馬場、競走馬スイミングプール、そして森林馬道といったさまざまな調教施設があります。約2,000頭の競走馬が、レースへの出走に向けて日々トレーニングを行っています。

木原城山まつり

イベント



毎年4月の第2日曜日に、木原城址に整備された城山公園で開催されるお祭りです。園内には、約3万本のチューリップが見事に咲き、特設会場で様々なイベントが開催されます。

みほふれ愛プラザ

地域交流館

地域交流の中心拠点。1階には、交流館内でのイベントや村の観光情報などを発信する「情報提供スペース」、「子育て支援センター」があります。2階には、村民や来訪者が自由にくつろげる「交流サロン」や「テラス」、会議などで使用できる「研修室」が備わっています。また、施設内に地域産品直売所「みほーすマルシェ」があり、新鮮な地元野菜や果物、馬グッズ、美浦村の新名物「蹄鉄やき」などを販売しています。

スポット



美浦村文化財センター

「陸平」読める？

スポット



日本屈指の規模を誇る縄文時代の遺跡「陸平貝塚（おかだいらかいづか）」がある陸平貝塚公園の入り口にあります。展示室では陸平貝塚をはじめ美浦村内の遺跡や歴史を紹介しています。縄文土器作りや縄文クッキー作りなどの体験事業も行っています。陸平貝塚の保存と活用のために活動するボランティアグループ「陸平をヨイショする会」の活動拠点にもなっています。

光と風の丘公園

スポット



村の中心部にある総合公園です。多目的競技場や夜間使用が可能な野球場とテニスコートがあります。また、ロッジハウスやキャンプ場、子ども広場など家族で楽しめるエリアもあり、みんなの憩いの場となっています。

大山湖畔公園

スポット



昭和13年に鹿島海軍航空隊として開隊。水上機の実習訓練施設として発足し、終戦とともに役目を終えました。近年「他に類を見ない景観」が高く評価され、映画やドラマ、MVの舞台として数多く使用されています。毎週土・日は一般公開しております。

（株）まちづくり美浦

美浦村6次化産品

お土産



「子ども達に素晴らしい地域を残したい」そんな思いで若手経営者が集まり【（株）まちづくりみほ】が誕生しました。「美浦の食材を使用したカレーやスープ等のレトルト食品」、「ミホノダイフク」といった美浦村特産品の開発・販売やイベント企画、村外へのPR活動を行っています。特産品は「みほーすマルシェ」で販売しています。

阿見町

AMI Town

- 由来／この地に和銅元年(708)に建立された阿彌神社に由来するという説が一般的。常陸国風土記に記される「皇祖の天下を經營せらるるや阿彌普都、実に能く天業を補弼せり、其神功成るに及びて天に還りしと、蓋し是地に於てするや」に由来するといわれています。

- 町の花／キク
木／サクラ
鳥／ウグイス



あみっぺ

霞ヶ浦の南岸に位置し、土浦市、牛久市、稲敷市、美浦村に隣接しています。町の大部分は平坦な洪積台地で、霞ヶ浦を望む台地には、町の天然記念物にも指定されている巨樹・巨木が多くあります。静かな農村地帯というイメージも大正11年に霞ヶ浦海軍航空隊が開設されたことにより一変し、第2次世界大戦までは、海軍の町として全国的に知られる存在でした。その跡地は陸上自衛隊武器学校、東京医科大学、茨城大学農学部、県立ろう学校などに利用されており、現在は文教都市として発展しました。

観光カレンダー

4月上旬	あみさくらまつり
10月中旬	まい・あみ・まつり
10月下旬	さわやかフェア
11月上旬	商工まつり

※開催時期が変更となる場合があります

予科練平和記念館

平和の大切さを伝えている

昭和14年に、海軍飛行予科練習部いわゆる「予科練」が神奈川県横須賀から阿見に移転、終戦まで全国の予科練教育・訓練の中心の役割を担うこととなりました。「予科練平和記念館」では、貴重な予科練の歴史や町の戦争の記録を保存・展示し、命の尊さや平和の大切さを伝えています。



あみプレミアム・アウトレット

阿見東ICからすぐ近く

国内外の著名ブランド約160店舗が軒を連ねるアウトレットセンターです。いつでもお値打ち価格が嬉しいショッピングエリアに加えて、和洋中様々な名店が揃っている飲食エリアも人気。圏央道「阿見東IC」に直結した交通の便の良さ、そして、牛久大仏が見えるアウトレットというロケーションも人気です。



雄翔館・雄翔園



予科練出身者により設立された記念館。予科練戦没者の遺影・遺書・遺品約1,000点を収蔵、展示しています。雄翔園には予科練之碑・歌碑等があります。

雪印メグミルク工場見学



プロセスチーズやマーガリンを製造する阿見工場。見学コースからの製造工程の見学やVR（仮想現実）の技術を活用した視覚体験、チーズの試食などができます。

桜の名所



春には、町の木にもなっている桜が町内各所で咲き誇ります。茨城大学農学部や県立医療大学前の通りは、最盛期はまさに桜のトンネルのようです。

まい・あみ・まつり



平成2年に始まったお祭りです。町民総参加による町民同士のふれあいの輪を広める交流の場として、開催されています。

阿見町産常陸秋そば

全国そば優良生産表彰

産学官連携で栽培が始まった阿見町の常陸秋そば。年々栽培面積を拡大し、品質の高いそばの生産地として認められました。町内各所の飲食店で阿見町産のおそばを楽しむことができます。



阿見グリーンメロンスウィーツフェア

阿見グリーンメロンを使用したスイーツ

商工会が主催し、町内の菓子店やベーカリー、産直所が参加。阿見町の特産品である阿見グリーンメロンを使用したメロンパンや、メロンの果肉をたっぷり使用したスイーツなどの商品の開発&提供を期間限定で実施。毎年初夏にフェアを開催しています。



河内町

KAWACHI Town

■由来／河内の名は、河内郡に属し、利根川と新利根川に挟まれた沃地であることから、公募により選ばれました。

■町の花／あじさい

木／けやき

鳥／ひばり



かわち丸



河内町は茨城県の最南端に位置し、都心に50km圏、筑波研究学園都市に30km、成田国際空港までは20kmの距離にあります。また、南に利根川、北に新利根川が流れ、突き抜ける青空の中に筑波山が、夕焼けの彼方に富士山を望むことができる緑豊かな美しいまちです。観光は体験型として利根川沿いにある堤防を活かしたサイクリングや利根川河川敷にある大利根飛行場の体験搭乗、グルメスポットとしては町の長竿地区にある築100年以上となる旧家をリノベーションした町の小さな拠点「長竿亭」と、焼肉店舗と精肉店舗が併設されたWO-29 Butchersが、観光情報発信交流施設に入店しました。先行オープンした農産物等直売所とサイクルステーションやコーヒーショップも併せて「かわち夢楽」がグランドオープンし、益々盛り上げりを見せています。

観光カレンダー

3月下旬～4月上旬	かわち桜まつり
11月上旬	かわちドリームフェスティバル
11月上旬～2月中旬	かわちイルミネーション
12月中旬	かわちクリスマスイルミネーション

長竿亭

築100年以上となる旧家をリノベーションしたまちの小さな拠点です。立派な梁や蔵を見るだけでも一見の価値あり。敷地内では手打ち蕎麦や本格コーヒー等が堪能できます。



旧家「長竿邸」から「長竿亭」へ

スポット

ワイルドスワンズアトリエ

革ブランド「WILDSWANS」のアトリエです。見学やワークショップが体験でき、併設のショップ「MARUSAN」では、ここでしか手に入らない限定品も販売されています。



スポット

大利根飛行場

利根川河川敷にある飛行場で、軽飛行機、モーターグライダー等のライセンスの取得や、チャーター、体験搭乗ができます。体験搭乗は河内町ふるさと納税の返礼品にも採用されています。



スポット

かわちクリスマスイルミネーション



イベント

不動免沼をぐるりと囲んだ水と緑が豊富な公園です。八重桜、さつき、クチナシなどの花が楽しめ、四季折々の風景を見ることができるので、散策にはぴったりの公園です。

かわち桜まつり



イベント

観満開の桜の美しさをさらに際立てるライトアップとイルミネーションの共演で、会場全体を幻想的な世界に引き込みます。また、1日限りのイベントでは、大道芸人による華やかなパフォーマンスやキッチンカー・模擬店の出店で会場を盛り上げます。

かわちイルミネーション

河内町の新たな風物詩として2018年から行われているイベントです。開催期間中はかわち水と緑のふれあい公園全体が最大約50万球以上のイルミネーションと音楽で皆様をお迎えします。毎年大勢の来場者でにぎわい、茨城県内でも有数なイルミネーションとしてSNS等で紹介されています。



イベント

光り輝く新たな冬の風物詩

観光情報発信交流施設 WO-29 Butchers

新感覚の焼肉店！

観光情報発信交流施設に、ばんどう太郎グループが運営するWO-29 Butchersが入店しました。精肉店舗と焼肉店舗が併設しており、隣接する強みを活かし、鮮度抜群のお肉をタッチパネルで注文し、お席までレーンで運ばれて来る新感覚の焼肉店です。



スポット

かわちドリームフェスティバル

河内町一大イベント

11月上旬に開催されるスポーツ・文化・芸術等で楽しめる参加型複合イベントです。夜はイルミネーションの点灯式も予定され、安くて美味しい食べ物や自慢の一品を販売する模擬店・キッチンカーが出店し、子供からお年寄りまで、1日中楽しめるイベントとなっています。



イベント

利根町

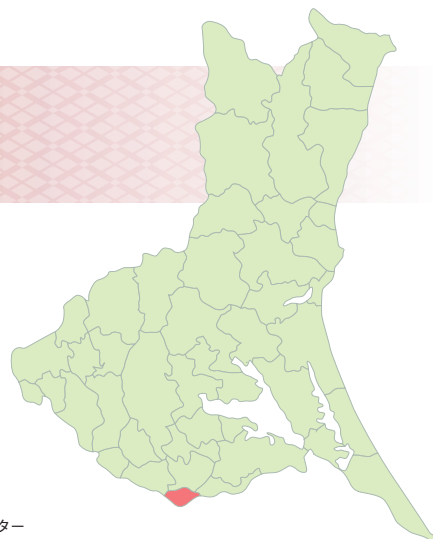
TONE Town

■由来／昭和30年(1955)1月1日、布川町、文村、文間村、東文間村の一町三村が合併した際、利根川に隣接する町であることから利根川にちなみ、「利根町」としました。

■町の花／カンナ
木／サクラ
鳥／ヨシキリ



利根町観光協会イメージキャラクター
とねりん



利根町は茨城県の最南部、千葉県との県境に位置し、都心からも40km圏内という立地から都心通勤者のベッドタウンとして栄えました。その名の通り日本一の流域面積を誇る大河「利根川」の流れとともに生きてきた水辺のまちです。町内全域には平坦な田園風景が広がり、四季折々で移り変わる自然風景が町を彩り、随所で歴史ある社寺仏閣や文化史跡にも出会える、自然と歴史に包まれた静かなまちです。主幹産業は農業で、お米を中心に、いちご、花卉などを生産しています。

観光カレンダー

3月末～4月上旬	利根町さくらまつり
7月下旬(3年に1度)	布川神社臨時大祭
8月中旬	利根町民納涼花火大会
11月3日	利根町地場産業フェスティバル
12月又は1月	トネマチ冬まつり

こもろ 蛟蛸神社

東西に「奥の宮」と「門の宮」の社から成り、約2300年前に水神である弥図象女大神(みづのはのめのおおかみ)を現在の門の宮の場所に祀ったのが始まりとされています。門の宮の鳥居は、映画「君の名は。」に登場する宮水神社の鳥居のモチーフとなった隠れた「聖地」。奥の宮の境内は厳かな雰囲気が漂う利根町屈指のパワースポットで、御朱印やオリジナルティ溢れるお守りも人気。



スポット

「君の名は。」の聖地!

利根親水公園



スポット

1.6ヘクタールある園内では、カキツバタ、ヒメスイレンなどの水生植物をはじめ、季節ごとの花が楽しめます。池一面に広がる大輪の古代ハスは必見。
・古代ハス見頃:6月下旬～7月上旬

大平野生植物園



スポット

ボランティアの手により竹林を再生して造られた自然植物園。およそ1000株のヤマユリをはじめ、季節ごとの山野草観察が楽しめます。カタクリ見頃:3月中旬～下旬／ヤマユリ見頃:7月上旬

利根町民納涼花火大会

利根町の夏を彩る納涼花火大会は、規模は小さいながらも、地元や近隣住民に愛される町の一大イベント。メイン会場では盆踊りをはじめとするアトラクションや、灯ろう流しがおこなわれます。利根川の川面を流れる灯ろうと花火が織りなすノスタルジックな光と水の共演は、かつて水運として栄えた利根町ならではの。



イベント

灯ろう流しと花火がコラボ!

COFFEE HOUSE とむとむ



グルメ

自社温室栽培の世界最北限といわれるオリジナルコーヒー豆「とねビーンズ」や、厳選した輸入豆を自社焙煎したこだわりのコーヒーをサイフォンでゆっくりと味わえます。メディア取材多数。

ONO PAIN(オノパン)



グルメ

国産小麦粉や北海道産バターなど厳選された素材を使い、丁寧に焼き上げたこだわりのパンが魅力の人気店。焼き立ての芳醇な香りに誘われ、つい買いすぎてしまいます。

布川神社臨時大祭

御輿と6町6基の山車が祭囃子の軽快な音とともに町内を練り歩きます。3年に一度だけお目見えする御輿は、若衆が神社77段の石段を7往復しながら水を浴びる「禊(みそぎ)」の儀式を皮切りに、波にもまれるように担ぎ手から担ぎ手へと渡っていきます。
※次回開催予定:令和9年7月末



イベント

迫力の暑い夏は必見!

鯛焼き屋 Green



グルメ

鯛焼きのほか、焼きそばやスイーツなどメニューが豊富。中でも、大きく口を開けた鯛焼きを丸ごと使った「鯛パフェ」は、季節のフルーツとクリームがたっぷり、見た目も味も楽しめる一品です。

手作り点心の店 Syun358.



グルメ

ひとつひとつ丁寧に作られた点心のテイクアウト店。県内の銘柄豚「山西牧場」の特撰豚肉を使用した、肉肉しい餡がギュッと詰まったしゅうまいと肉まんは、一度食べたらずみつきです。

県南地域周遊コース

1 牛久大仏
＜牛久市＞



2 龍ヶ崎コロッケ
＜龍ヶ崎市＞



3 JAXA
つくば宇宙センター
＜つくば市＞



4 筑波山神社
＜つくば市＞



県南地域 人口(令和8年4月時点)・年間観光入込客数(令和7年)

	人口	年間観光入込客数		人口	年間観光入込客数
土浦市	141,368人	1,676,800人	稲敷市	35,212人	412,400人
石岡市	67,946人	1,386,600人	かすみがうら市	38,020人	286,300人
龍ヶ崎市	73,790人	33,500人	つくばみらい市	51,638人	108,200人
取手市	103,468人	249,400人	美浦村	13,269人	94,000人
牛久市	82,902人	1,212,900人	阿見町	50,770人	2,977,500人
守谷市	70,152人	32,000人	河内町	7,131人	244,500人
つくば市	263,206人	3,759,200人	利根町	15,051人	15,000人

茨城県の豆知識④

『茨城空港』

令和8年7月時点の情報です。最新の運行情報・キャンペーン等は茨城空港HPをご確認ください。
<https://www.ibaraki-airport.net/>



◇就航路線(直行便)

＜国内線＞

＜国際線＞



茨城⇄札幌	毎日3往復	茨城⇄ソウル	月・金曜日
茨城⇄神戸	毎日3往復	茨城⇄清州	火・木・土曜日
茨城⇄福岡	毎日1往復		
茨城⇄那覇	毎日1往復		

※国際線・定期チャーター便等の運航状況については、空港HPをご確認ください。

◇各方面からの連絡バス

※すべて片道・現金運賃、()内は所要時間

茨城空港⇄東京駅	大人2,200円(約100～150分)
茨城空港⇄つくばセンター	大人1,100円(R2.4～運休中)
茨城空港⇄水戸駅	高速:大人1,500円(約40分) 一般:大人1,190円(約65分)
茨城空港⇄石岡駅	大人650円(約30～35分)



◇駐車場

最大3,600台分の無料駐車場を完備。
何日停めても無料です。(14日以上は要届出)

◇1,000円レンタカーキャンペーン

茨城空港を利用し、県内の宿泊施設を1泊以上利用される場合に、レンタカーの基本料金がキャンペーン価格で利用できます。(2026年7月30日まで)

車両クラス	利用人数	利用料金	
		国内線	
		24時間まで	24時間以降
エコノミー(C)	1名	通常料金より 4,000円割引	車両クラスに 応じた 通常料金が 加算
	2名以上		
スタンダード(C3)	3名以上		
ワゴン(W1、W2)	4名以上		

◇乗合タクシー(事前予約制)

茨城空港発着の航空機を利用される場合、航空ダイヤに合わせたバスが運行されていない地域でもお得に利用ができます。

※全てのルート片道料金
※乗車人数により料金が異なります。(下記は全て3人以上利用時)

茨城空港⇄つくば市	2,500円/人～
茨城空港⇄土浦市・かすみがうら市	2,000円/人～
茨城空港⇄神栖市・鹿嶋市	2,500円/人～
茨城空港⇄潮来市	2,000円/人～